

2022 年度  
ミス・パリ・ビューティ専門学校

自己評価報告

2023 年 4 月

学校法人ミスパリ学園  
ミス・パリ・ビューティ専門学校

## 2022年度 自己評価について

学校法人ミスパリ学園が運営するミス・パリ・ビューティ専門学校は、東京都豊島区池袋に2010年4月に開校しました。

本校の前身となるミスパリエステティックスクールは、1990年にエステティックに関する教育を本格的に開始し、常に先進的な理論と技術を教授し、その授業時間も300時間、1,000時間と増やすことにより、カリキュラムを充実させてきました。また学生がより興味と意欲を持って学習する環境を構築するため、2014年度入学生から選択コースを実施しております。

専修学校として再スタートを切る際には、全国でもあまり類を見ない2年間で2,085時間という非常にハイレベルのカリキュラムを編成し、即戦力人材の育成に注力し、有為な人材を関係業界だけでなく他分野にも多数輩出してまいりました。

また、エステティックだけでなく、厚生労働大臣の指定を受けた美容学科も併設し、総合的な美容のプロフェッショナルを育成する美に特化した専修学校であると自負しております。美容師国家試験における高合格率の実績は、教育が充実している証と考えております。引き続き100%の合格率を目指し教育の充実を図ってまいります。

これからも本校の教育理念である「美しく聡明で品格あるプロフェッショナルの育成」を基本とし、教育内容の更なる充実を図り、日本のみならず世界で活躍できる人材育成に向け、教職員一同努力してまいります。

以下にあるとおり2022年度の自己評価の取り組み状況をご報告いたします。

自己評価の目的は、本校に関する各項目を教職員が客観的に評価することにより、改善点を見出し、更に実践的な教育プログラムを充実させることにより、学生はもとより教職員の質の向上に資するものです。

学生が卒業後も活躍できる環境の醸成に向け、今後も引き続き、企業や業界団体の皆様のご理解、ご支援を賜りたいと存じます。

1. 評価実施期間

2022年4月1日～2023年3月31日

2. 実施方法

(1)校長以下、副校長、学年主任、教育課主任が中心となり、各教職員が連携して評価を行う。

(2)評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にしている。

(3)評価は、年度終了後速やかに行い、年1回行うこととする。

(4)評価結果は、学校関係者評価委員に報告するとともに、現状と今後の改善、解決に向けた取り組み等を公表することとする。

3. 自己評価の項目

(1)教育理念・目標      (2)学校運営      (3)教育活動      (4)学修成果

(5)学生支援      (6)教育環境      (7)学生の受入募集      (8)財務

(9)法令等の遵守      (10)社会貢献・地域貢献

4. 評価項目に対する評価

評価は5段階とし、

5：良好      4：適切      3：ほぼ適切      2：やや不適切      1：不適切

以上

## 2022年度 ミス・パリ・ビューティ専門学校 自己評価表

### 1. 学校の教育目標

本校の教育理念「美しく聡明で品格あるプロフェッショナルの育成」を念頭に、学校法人ミスパリ学園としての自覚と自負の下、「充実した教育課程」「学生獲得」「就職確保」の3本柱を全教職員の力で全うし、わが国トップクラスのトータルビューティの専門学校を目指す。

### 2. 本年度に定めたい重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1) 教育の質の向上、魅力的で楽しく、充実した内容の授業を行う。講師の評価制度を確立する。
- 2) 募集定員の確実な達成を図る。
- 3) 学生の遅刻・欠席をなくし、進級率 90%を達成する。
- 4) 学生の体力、人間力の向上を図る。
- 5) 働くことの意義を理解し、社会で活躍できる人づくりを行う。
- 6) 即戦力になる人づくりを行う。
- 7) 学園（姉妹校4校）の協力により、相乗効果を上げる取り組みを行う。

### 3. 自己評価

良好…5      適切…4      ほぼ適切…3      やや不適切…2      不適切…1

#### (1) 教育理念・目標

	評価項目	評価	前年度
1	学校のビジョン及びそれを実現するための方針を策定しており、かつ、教職員に理解されているか	5	5
2	特色ある学校づくりを進めるために、求められる仕事及び求められる人間性を明確にし、学校独自のカラーを出しているか	5	5
3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、学生や保護者等に周知されているか	5	5
4	目標に対する評価を年度内に実施し、その結果を教職員に周知するとともに、次年度の目標につなげているか	5	5
5	教育目標、育成人材は学科等に対する社会のニーズに向けて方向付けられているか	5	5

### 課題

・対面で行う授業時間が減ってしまったせいなのか、本校の特色であるマナーの指導が弱くなったと感じている評価者がいた。対面式授業の時間を学生と職員が直接コミュニケーションを取れる貴重な時間と捉えて、より充実した授業の実施と学生にその目的が明確に伝わるような指導をして行く事が課題である。

### 取り組みと結果

・必須科目であるサービスマナーの授業に加えて、オープンキャンパスでの学生指導を強化した。具体的には各学生で毎回良いサービス等が行えた人を表彰し、朝礼時に身だしなみの確認や挨拶、返事の練習をしっかりと取り組んだ。その結果、学生のモチベーションの向上に結び付き、学生全体のレベルアップを感じることができた。

### 今後の課題と改善事項

- ・各学科共に、一番の基礎となるサービスマナー検定3級の合格率100%を目標とする。
- ・より質の高い人材育成を行うために、教職員自身のレベルアップを図る。

## (2) 学校運営

	評価項目	評価	前年度
1	事業計画等に沿った運営方針が策定されているか	5	5
2	学校運営などに学生の意見が反映されているか	4	4
3	地域社会への貢献の一環として、学校施設を地元開放しているか	5	4
4	地域との協力関係が確立されているか	4	4
5	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されていて、有効に機能しているか	5	5
6	人事・給与等に関する規程等は整備されているか	4	4
7	教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	5	4
8	教職員の健康診断を実施しているか	5	5

9	各種システム化等により業務の効率化が図られているか	5	5
10	ホームページは、適宜更新し、見やすくしているか	5	5
11	学校評価を組織的に実施し、評価結果を教職員に周知するとともに、改善計画を策定しているか	5	5
12	学校運営及び評価の結果を学校関係者以外に、何らかの方法で公表しているか	5	5

#### 課題

- ・コロナの影響もあり、地域社会とイベントを通じた関わりが限定的な状況になっている。感染の拡大防止に留意しながら出来る限り以前のように、親交を深められる機会を設ける。
- ・学校の情報発信ツールとしてホームページを開設している。より臨場感のある情報を外部へ周知をするために、SNS 動画による学内授業やイベントの取り組みに関する情報発信を強化する。

#### 取り組みと結果

- ・マスター学科、トータルビューティ学科を中心に学内サロンを運営し、学外からのお客様を迎え入れて、接客をすることができた。また、毎回の目標を決め、頑張った学生を評価し、その象徴となる評価章（星マーク）を付与したことで、学生の向上心につながった。
- ・HP や SNS 情報発信をしっかり行ったこともあり、過去最高の高校生来校者数となった

#### 今後の課題と改善事項

- ・来校者に対して学校特色をより明確に訴求し、入学者の増加に繋げることが課題である。
- ・コロナの影響が少なくなってきたので、改めて地域との連携が図れるようにしたい。
- ・学生アンケートによる改善点を認識し、学校運営の向上を図る。

### (3)教育活動

	評価項目	評価	前年度
1	教育課程は、教育理念・教育目標と一貫性がある内容になっているか	5	5
2	定期的に教育課程の評価を組織的に行い、時代の要請、変化にあったものに修正しているか	5	5

3	シラバス（授業計画書）は、学生が授業内容を理解しやすく、授業内容と一致しているか	4	4
4	効果的な授業運営を図るため、適切に時間割を調整しているか	5	5
5	授業内容や指導方法が学生レベルに合うよう工夫・改善しているか	5	5
6	学生に修了認定のための評価基準と方法を公表しており、かつ、評価は公平性・妥当性が保たれているか	5	5
7	評価結果による教員面接・指導が行われているか	5	5
8	未修了科目の原因分析を教員側と学生側とで実施し、対応策を講じているか	5	5
9	資格対策に個々の学生にあった指導・援助を実施するなど、教職員一丸となって取り組んでいるか	5	5
10	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	5	5
11	教職員のスキルアップのための研修を行っているか	5	5
12	研修や出張で学会等に参加した成果を他の教職員に還元する仕組みがあるか	5	5
13	教職員の授業を他の教職員、または外部関係者が参観、講評できる制度があるか	5	5
14	教職員による自己評価が定期的に行われているか	5	5
15	インターンシップ等を利用して、職業選択について深く考える契機を提供出来ているか	5	4
16	関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携によりカリキュラムの作成・見直し等が行われているか	5	5
<b>課題</b> ・前年度の美容師国家試験の不合格理由が、衛生取扱い審査の不備であった。事前に何度も模擬試験を繰り返して、指導の強化を図っているが、受験者全員の合格に結びついて			

いない。試験本番当日を平常心で迎えることができるように、メンタル面を強化する指導が必要である。

- ・コロナ禍で外部の講習会に頻繁に参加する事が中々できない難しい状況ではあるが、少しでも情報の収集に努めて、積極的に教員のスキルアップを図って行きたい。

#### 取り組みと結果

- ・今年度の美容師国家試験に対して、模擬試験に加えて個別の指導を繰り返し実施した結果、学生は衛生取り扱い審査の不備なく受験を終えることができた。
- ・美容学科として初めて、企業の協力により、インターンシップを実施することができた。学生達にとって良い実践と学びの機会となり、就職選択の幅が広がった。

#### 今後の課題と改善事項

- ・各分野の指導教員を確保することと、より充実した授業を実施するために、外部講師を含む教職員の指導力の向上を図る。
- ・インターンシップの協力先を増やし、学生にとっての選択肢の幅を広げること。

#### (4) 学修成果

	評価項目	評価	前年度
1	学生の就職に関する目標を設定したか。またその成果は十分か	5	5
2	学生の資格取得目標を設定し、その結果検証をおこなっているか	5	5
3	中途退学者を少なくする工夫・努力をしているか	5	5
4	卒業生の就職先での評価を把握し、問題点を明確にしているとともに、その改善策を講じている	5	5

#### 課題

- ・引き続きコロナ禍の状況も鑑み、早期に就職内定を決めていくことが目標である。具体的には、トータルビューティ学科は7月末までに、美容学科は12月末までの全員内定を目指す。
- ・退学者を出さない為に、学生の自己肯定感を高める指導とコミュニケーションを図っていくこと。途中で諦めず、最後までやり通すことができる教育を各教員が心掛ける。
- ・美容師国家試験とエステティック上級資格試験については、受験生全員の合格を目標とする。

#### 取り組みと結果



- ・就職に関して、トータルビューティ学科は7月末までの目標を達成。美容学科は残念ながら一部の学生が目標期日までに内定をいただくことができなかった。
- ・一人一人の学生と向き合った指導と早い対応を行ってきたが、結果として各学科で退学者が出てしまった。
- ・美容師国家試験の受験者全員合格を達成することが出来た。

#### 今後の課題と改善事項

- ・各学科での退学及び転科の原因分析結果により、上位を占める項目への改善策を全教職員で共有し、即実行をする。
- ・各種資格試験における合格率を上げるため、模擬試験や授業外の学習方法について、個人レベルに合わせた指導を細かく行う。

#### (5) 学生支援

	評価項目	評価	前年度
1	学生の心身面での健康管理体制が整っている	5	5
2	学生生活、進学、就職に関して学生の相談に十分応じているか	5	5
3	学生のクラブ活動やボランティア活動などの自主活動を支援しているか	4	4
4	災害など非常時の危機管理体制が整っているか	5	5
5	奨学金等の経済的支援があるか	5	5
6	学費減免、学費分納制度があるか	5	5
7	学生寮を保有、または紹介をしているか	5	5
8	卒業生への再教育、または就職支援体制はあるか	5	5
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境は整備されているか	5	5

**課題**

- ・ 社会人に向けた広報活動を充実させ、入学希望者を増やしていく。
- ・ 各種奨学金制度は充実しているが、その手続き方法などについては、限定的な窓口担当となっていることから、職員全体が制度を理解し、学生対応の充実を更に図っていく。

**取り組みと結果**

- ・ 社会人でも学ぶことが可能な学科を設置し、環境は整っているが入学希望者が少なく開講に至らなかった。
- ・ 奨学金に関しての情報共有を行い、新たな担当者を育成しているが、教員全体が熟知するレベルまでには、まだ時間が必要である。

**今後の課題と改善事項**

- ・ 引き続き、社会人向けの広報活動を強化し、入学者を増加させること。
- ・ コロナ禍が終息に向かっている状況なので、学生が主体となる行事や活動を実施していく。

**(6) 教育環境**

	評価項目	評価	前年度
1	教育目標達成に必要な施設、設備及び新しい教材が整っており、活用されているか	4	4
2	施設・設備等の定期点検、補修等について適切に対応しているか	5	4
3	教職員・学生に防災研修・教育を行っているか	5	5
4	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか	5	5

**課題**

- ・ 在校生が増えた事から、より施設・設備の充実が求められている。必要なものには可能な限り設備投資を行っていく。
- ・ コロナ禍の影響もあり、集団で纏まって何かをする事はまだ難しい環境下にあるが、少しずつ在校生が行える行事を増やしていきたい。

**取り組みと結果**

- ・ 学生支援の一つとして、学内の設備や教具などについても、新たな設置と修繕を行った。
- ・ コロナ禍の状況を考慮しながら卒業間際での企画となったが、各学科合同の行事を行うことができた。

**今後の課題と改善事項**

- ・より充実をした教育環境を整えるために、必要に応じて設備投資を行っていく。
- ・学校内外での行事などについて、在校生の意見を含めて立案し、学生が主体的に運営できる環境を整える。

(7) 学生の受入募集

	評価項目	評価	前年度
1	学生募集計画があるか。また成果は十分か	4	4
2	学校案内等には育成人材像が明示されているか	5	5
3	学校案内等には目指す資格・検定試験等が明示されているか	5	5
4	学校案内等には学費・教材費が明示されているか	5	5
5	入学（予定）者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか	5	5

**課題**

- ・従来の対面式オープンキャンパスとオンラインの併用運用によるイベントの強化に加え、学校の魅力を伝える動画配信に注力をする。
- ・トータルビューティ学科の定員達成に加え、美容学科の定員達成をする。

**取り組みと結果**

- ・前述通り、高校生の来校者は十分に確保できていたが、トータルビューティ学科、美容学科ともに定員の達成は未達の結果となった。

**今後の課題と改善事項**

- ・来校者に対して他校との差別化を図り、学校の特色と授業の強みを伝える。また、在校生の堂々とした姿を見せ、卒業をするときのレベルと就職先での活躍を想像しやすいようにする。一人一人を大切に対応し、定員の達成を図る。

(8) 財務

	評価項目	評価	前年度
1	予算計画、年間事業計画を策定し、適正な予算の執行・進捗管理を行っているか	5	5

2	財務について会計監査が適正に行われているか	5	5
3	財務情報公開の体制整備はできているか	5	5
<p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き学校の財務状況については各職員が把握をし、健全な学校運営に努める。</li> </ul> <p><b>取り組みと結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>財務状況として、大きな問題となるような事案はなく、年度を終了することができている。</li> </ul> <p><b>今後の課題と改善事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次年度も健全な財務状況となるように、慎重な学校運営をする。</li> </ul>			

(9) 法令等の遵守

	評価項目	評価	前年度
1	法令や専修学校設置基準を遵守しているか	5	5
2	学生指導において、学生に対して人権への配慮がされているか	5	5
3	学生、非常勤講師や教職員の個人情報の保護について、考慮しているか	5	5
4	自己点検・自己評価を定期的に実施し、問題点の改善につとめているか	5	5
5	自己評価結果を外部に対して公表しているか	5	5
<p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人と学校の SNS 活用方法について、情報漏洩が起きないように更に施策を講じていく</li> </ul> <p><b>取り組みと結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SNS の活用講習などの講義を行い、在校生の運用に大きな問題はなかった。</li> </ul> <p><b>今後の課題と改善事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報の取り扱いについて、学生、教職員共に法令に準拠して学校運営を行う。</li> </ul>			

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価	前年度
1	学校の実習施設を活用するなど高等学校の職業教育の実施に協力・支援しているか	5	5
2	環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか	5	5
3	受け入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	5	5
4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	5	5
<p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の社会状況を勘案しつつ、学園祭などの行事を通じた学校の一般開放を再開させたい。</li> <li>・SDGsに関する意識を高めた活動が出来るように、その取り組みを策定する。</li> </ul> <p><b>取り組みと結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トータルビューティ学科における学内サロンを開催し、学外のお客様を受け入れることができた。</li> <li>・校内のごみの分別をしっかりと行い、リサイクルが可能な資源と廃棄するものを分けた。また、一部の廃棄教材について、利用価値のあるサロン様へ提供を行った。</li> </ul> <p><b>今後の課題と改善事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍が終息に向かう中で、積極的に学外のお客様を迎え入れる活動を行っていきたい。具体的には学内サロン、高校生の学校見学及び体験学習会、ミスパリ祭、ビューティコンテストの観覧などに参加をしていただく。</li> <li>・リサイクル、環境問題を意識した習慣を学内で徹底する。</li> </ul>			